



排便障害は人々の生活に大きな影響を及ぼします。排便障害の初期症状を認めてから適切な治療が見つかるまでには、平均で5、6年を要します¹。

このことから、現在の治療が奏功していないケースを見極め、患者さんが適切な治療をより迅速に見つけられるようサポートすることが重要です。

本連載記事では、排便管理に関する最新の研究をご紹介します、患者さんが適切に排便管理の習慣を身に付けるためのサポートと、治療が奏功していないケースの見極め方について検討していきます。

今回は、長期的にコンプライアンスを維持して経肛門的洗腸療法（TAI）が行えるよう、患者さん向けのトレーニングが果たす役割に焦点を当てていきます。

患者さんの TAI のコンプライアンスと治療成功率を向上する

どんな治療においても、成功させるためには、治療へのコンプライアンスが不可欠です。これは、TAI においても例外ではありません。

これから紹介する2つの研究^{2, 3}により、TAI を効果的に実施するために必要なトレーニングを行い、実施への自信を患者さんに与えることで、患者さんの TAI のコンプライアンスをいかに改善することができるかが明らかとなりました。

TAI が排便障害の患者さんに対する効果的かつ低侵襲性の治療法となりうることは、他の先行研究^{4, 5}で示されています。TAI は、保存的療法では効果が不十分な場合の治療の選択肢として推奨されています。

しかし、治療後に排便機能が改善するには時間がかかることから、TAI の効果が安定するには、時間を要することがあります。

これについては、患者さん自身についても同じことがいえます。複数の研究によると、課題となるのは TAI のコンプライアンスであり、比較的多くの患者さんが 3 年後には TAI を継続してしないことが明らかとなっています。最近の研究では、治療を長期的に継続するためには、患者さん向けのトレーニングとサポートが有効であることが、エビデンスで示されています。

初回洗腸時のトレーニングが鍵となる

2017 年に行われたフランスの研究では、初回洗腸時のトレーニングから 1 年後経過した TAI のコンプライアンスに影響を及ぼす最も重要な要因は何か調査されました⁴。本研究の目的は、治療コンプライアンスの予測要因を特定することでした。

患者さん 108 人のグループを調査した結果、TAI コンプライアンスの唯一の予測要因は、初回洗腸時のトレーニングの有効性であることが、この研究者グループによって明らかになりました。この研究では、初回洗腸時のトレーニングを成功させるための主な要因として、下記の 2 点が強調して述べられています：

- トレーニングを体系的に行うことが重要であること
- 医療従事者の方が、治療の有効性、副作用、制限に関して伝え、現実的な目標設定をすることが重要であること

トレーニングに特化する人材と環境を確保

米国で 2020 年に実施された研究は、体系化された初回洗腸時のトレーニングがもたらす効果について、過去 2 件の研究結果を裏付けるものです⁵。

神経因性大腸機能障害（NBD）、直腸肛門奇形、難治性便秘症の小児患者さんにおいては、このアプローチにより治療コンプライアンスが向上するということがわかりました。本研究では以下の点が重要であると強調されています：

- **専門チームを設置し、子どもと保護者にトレーニングを実施する。** これは、TAI 手順の実施に対する家族の不安を軽減する一助となります。
- **トレーニングの手順書を用意する。** 体系化されたアプローチにより、患者さんは TAI を確実にいき、自信を持って実施できるようになります。
- **フォローアップを実施する。** 初回洗腸時のトレーニング後、家族が医療従事者の方に連絡して質問をしたり、問題が生じた場合に対応したりできるようにしておく必要があります。

トレーニングとコンプライアンスの密接な関係性

前述の 2 件の研究に示されている通り、患者さんに TAI を適切に実施してもらう可能性を高めるためには、いくつかの要因があります。重要なのは、以下によるサポートを行っていただくことです：

- TAI 治療の効果に関して、患者さんと現実的な目標設定を行う
- 体系化されたトレーニングを実施する
- TAI について詳細なパンフレットを提供する

- TAI の仕組みについて、患者さんが理解できるようサポートする

排便管理の有効性に関する評価について詳しく知りたい場合は、本連載の他の2本の記事をご覧ください。他の1本目の記事 [リンクを挿入] では、治療の有効性をアセスメントするツールとして、脊髄損傷患者さんへの使用の妥当性が検証された「MENTOR ツール」を紹介しています。2本目の記事 [リンクを挿入] では、TAI に適する患者さんを選択するための最も効果的な方法を紹介し、排便管理に関する段階的な治療ピラミッドについて説明します。

参考文献：

1. Coloplast, Market Study, The impact of bowel dysfunction of patients and HCPs, 2017, Data-on-file [PM-08410]
2. Bildstein, C. *et al.* Predictive factors for compliance with transanal irrigation for the treatment of defecation disorders. *World J. Gastroenterol.* 23, 2029–2036 (2017).
3. Patel, S., Hopson, P., Bornstein, J. A. & Safder, S. Impact of Transanal Irrigation Device in Management of Children with Fecal Incontinence and Constipation. *J. Pediatr. Gastroenterol. Nutr.* (2020)
4. Christensen P, Bazzocchi G, Coggrave M, Abel R, Hultling C, Krogh K, et al. A Randomized, Controlled Trial of Transanal Irrigation Versus Conservative Bowel Management in Spinal Cord-Injured Patients. *Gastroenterology.* 2006;
5. Faaborg PM, Christensen P, Kvitsau B, Buntzen S, Laurberg S, Krogh K. Long-term outcome and safety of transanal colonic irrigation for neurogenic bowel dysfunction. *Spinal Cord.* 2009;47:545–9.